

第25回 日本歯科審美学会学術大会

漆原 優

平成26年11月22日(土)・23日(日)に高松国際ホテルで第25回 日本歯科審美学会学術大会が開催されました。当講座からは佐藤洋平先生と漆原が参加しました。

会場の高松国際ホテルの名の通り、香川県で行われました。香川県と言えば、四国の一県であり、空海生誕の地であり、ため池が有名です。・・・ない知識をふりしぼりましたが・・・香川といえはうどんです。なによりまず、うどんです。香川県観光協会がうどん県と高らかに宣言してしまうくらい香川＝うどんです。そのような場所で学会に参加できるのを(うどんを)とても楽しみにしてました。



メインホールです。「臨床と学術のハーモニー」という副題のもと、審美学会の名にふさわしい口演やポスターが目立ちました。特別講演として「Posterior restoration materials: Ceramics or resin?」をDr. Ricardo Carvalho (The University of British) が講演されました。一般講演やポスターもクラウンマージンと歯周組織や、ダイレクトベニア修復、ホワイトニング、化粧品のある資生堂と共に研究したのも発表されました。教育口演も補綴、保存、矯正とあります。歯科にはたくさんの分野がありますが、補綴、保存、矯正、そしてお化粧の方法まで、とても多岐にわたる内容を一度に学べるのが歯科審美学会の特徴だと思います。

今回は私たちが二人とも22日のみの参加となってしまうことが一度に学べる大変貴重な学会参加となりました。最後に空港で念願のうどんを食べ、香川県をあとにしました。

次回は東京歯科大学 水道橋校舎で行われるので是非また参加したいと思います。



念願のうどん



高松空港の水道?!

